

広報ひらな



平成17年

新年号

- ◇新年のあいさつ・・・2～4ページ
- ◇町褒賞授与式・・・・・・・・5ページ
- ◇特集「浦田小学校」・8～9ページ
- ◇保健福祉だより・・・10～11ページ
- ◇新しい民生委員・・・・・・・・12ページ
- ◇お知らせコーナー・・・14～15ページ
- ◇戸籍の窓口・・・・・・・・17ページ
- ◇ごみの出し方が変わる・・・18ページ

発行／平内町

編集／企画調整課

平内町ホームページ

<http://www.town.hiranai.aomori.jp/>

賀 正

りゅう ぜつ らん
竜 舌 蘭
 の花が咲きました



夜越山サボテン園に、日本では30年～50年に1度開花するという『竜舌蘭』の花が11月26日(金)頃から顔を出しはじめました。新聞やテレビで報道されたのをきっかけに、たちまち大人気となり、珍しい花を一目見ようと観光客が押し寄せました。この時期に突然咲きはじめたのも、町制が施行され、50年が経つことを祝っているかのようですね…

□竜舌蘭 名 称 アガベ ベネズエラ Agave venezuela
 原産地 アメリカの南部からメキシコ、中米、南米北部、西インド諸島
 花の穂先まで約4m以上となるこの花は、地上最長・最大であり、開花に及ぶまで30～50年の年月を要し、開花すればその植物体は枯死してしまう。

今年 は 町制施行50周年 の年



年頭にあたって

平内町長 逢坂 雄一

明けましておめでとうございます。平成17年の新春を心からお慶び申し上げます。町民の皆様には、日頃より町政に対し温かいご理解とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年ほど自然の力の大きさ、恐ろしさを思い知らされた年は無かったのではないのでしょうか。

相次ぐ台風の来襲による洪水、土砂崩れ等により人命をも伴う全国的な被害、そして強い余震が続き地域住民を恐怖に陥れ、多くの命を奪い想像もつかないほどの大被害をもたらした新潟県中越地震、被害に遭われた多くの方々に心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復興を願うものであります。自然の脅威を改めて認識するとともに、これらの教訓を生かし、わが町としても行政と町民が一体となった防災対策を、今後とも真剣に考えなければと思っております。

また、一昨年は夏がないと言われるほどの異常天候の影響により、水稻は大減収、漁業においてもホタテ貝のへい死や価格安のため、40億円台まで水揚げ高が落ち込むなど、海、陸ともに大変な年でありました。

しかしながら昨年は一転して連日の猛暑となり、大豊作が期待されました水稻は、

最終的にモミが太れず予想外となりました。それでもどうにか平年並みの収量をほぼ確保することが出来ました。

一方、ホタテは成育、歩留まりがともに良かったことから全般的に高値で推移し、ナマコ等を含めて過去最高に近い66億円以上の水揚げ高となり、結果として農・漁業ともに、どうか一息ついて新年を迎えることが出来ました。

このように町の経済を左右する基幹産業を本年も関係者皆様のご協力をいただきながら、地場産業振興のための諸施策を講じて参りたいと考えております。

そのほか、町の各種事業は順調に推移し、下水道事業では昨年4月に西地区、東田沢地区が完成しており、平成17年は小湊地区の公共下水道処理場を完成させ、平成18年4月には供用開始となります。

昨年は、4月から町民バスを運行し、運賃を100円と200円の均一とし、町民の負担を軽減しながら4300万円以上の町費を大幅に節減いたしました。また、本年は、平内いきいき健康館（よこしやま温泉）を民間に委託し、サービスを低下させず、逆に利用しやすく改善を図りながら、その中で数千万円に及ぶ経費を削減いたし



◀小湊の町内から線路越しに見えるのは、平成18年度から供用開始となる下水道の処理施設。電車の車窓からもきれいに映ります

厳しい 財政状況の中

生活環境の整備

清水川で大漁だった『なまこ』。この日も漁協前にズラリと樽が並びました。



地場産業の振興

◀異常なまでに暑かった夏でしたが、水稲は平年並みの出来でした。

ます。さらに、町職員の退職者の不補充による人員減をカバーすべく思い切った行政組織・機構改革を実施いたします。

21世紀は、地方の時代と言われ、地方分権の進展に期待をかけておりましたが、現実には厳しく、三位一体改革の名の下に、地方交付税等常識では考えられないほど急激に、そして大幅に削減され、わが町を含めて自主財源に乏しい全国の市町村が悲鳴を上げております。

しかし、どのような事態になろうとも、それに適切に対処しなければならぬのが私たち首長の使命であります。

次々と新たな難問が発生し、様々な課題の山積みする平内町ではありますが、今まで培った経験、人脈を活かしながら初心に返り、町民との対話を大切に開かれた町政を推進するため、子供からお年寄りまで、そして、女性や若者も喜んで参画できる施策を展開し、町の更なる発展のため全力で頑張る覚悟でありますので、町民皆様の変わらぬご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

本年が皆様ならびに平内町にとりましても良き年でありますよう、心からお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。

新春を迎えて

平内町議会議長

三津谷 公雄



心地のよい、郷土ひらなない』建設のため、議員ともども一層精進する決意でありますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、地方分権の推進による、国と地方の税財政を見直す三位一体改革により、国は地方交付税等を対前年比12%の大幅な削減を行いました。このため全国の地方自治体の財政に大きな打撃を与えました。これは、地方分権の理念を無視し、国の財政再建を優先したものであり、誠に残念な結果となりました。今後の三位一体改革については、『地方がもつともつと元気になる』改革を強く望むものであります。

そして、台風も例年より多く上陸したほか、新潟県中越地震が発生し、これらの影響で全国各地において大災害が発生するなど、総じて自然災害の多い年でありました。幸いわが町はこれらと比較した場合、被害も少なくひと安心していらっしゃるようです。

また、町の産業である水稲については、一時的に低温があつたものの、7月中旬以降の記録的な暑さにより生育も順調に推移し、前年を上回る作柄となり、一方のホタテ養殖業においても、順調に成育し、価格も回復・安定したため、水揚げ高は前年を大幅に上回ることができました。

このように、わが町の基幹産業が順調に推移されましたのも、ひとえに関係機関・団体

はもとより、町民各位のご努力の賜物であり、そのご労苦に敬意を表するとともに、心からお喜び申し上げます。

今、わが国は、長引く不況により、様々な分野における大きな改革が求められております。私は、このような社会情勢の変化に的確に対応するためには、わが町の自主性・主体性を高め、地域の特性と地域住民の意思に沿った行政運営の展開を行うことが、町民の心豊かな生活を営むうえでも、また地域が自立するうえでも重要であると考えております。

このためには、町議会自らが町民の代弁者としての役割と責任を自覚するとともに、議会の機能強化や活性化を図り、住民の負託に応えていかなければなりません。

新年を迎え、厳しい財政状況の下、農林漁業の振興、少子高齢化による福祉や健康、生活環境の整備、教育の発展など、『住んで良かったと安心して暮らせるまちづくり』のためにも、議会の果たす役割りと責任はますます重要となつてきますので、町政に町民皆様のご意見やご要望が反映されるよう、議員一同、引き続きその重責を果たして参る所存でありますので、相変わらざるご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

町民のご健勝とご多幸を衷心よりご祈念申し上げます、議会を代表いたしまして新年のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとございませう。

平成17年の新春を迎え、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

私は、昨年4月、議長に就任以来9カ月を経りましたが、この間、町民の皆様には格別のご支援とご協力を賜り、おかげ様をもちまして、無事職務を遂行することができました。心から厚く御礼申し上げます。

本年も心新たに、『明るい、豊かな、住み

第42回平内町褒賞授与式

去る11月25日(木)、山村開発センターにおいて平内町褒賞授与式が行われました。

この褒賞は、町の政治、経済、社会、そのほか各般にわたって顕著な功績をあげられた方々を、永く顕彰するため第1回から昨年度までに合計213名、7団体が受賞され

ています。本年度の受賞者は、相坂氏、井筒氏、蝦名氏の3名となり、町の発展に貢献した功績を称えられました。

式の最後には、受賞者を代表し、相坂氏より「職務と任務を天分と心得てきたにすぎなかつたわけで、諸先輩方の懇切な指導と鞭撻の賜物と、

深く感謝しております」と謝辞がありました。



▲中央に受賞者を囲み、式典終了後に記念撮影
本当におめでとうございました

相坂 福次郎 氏(68歳)
田茂木字家岸54-1

井筒 強 氏(68歳)
口広字川向口広沢13-15

蝦名 年 實 氏(67歳)
東田沢字小館11-2



民生功労者として、長年にわたり平内町民生委員児童委員として活躍しました。この間副会長等の要職を歴任し、社会奉仕の精神を発揮するなど低所得者等の自立更正に多大な貢献をされ、さらには町行政協力委員としても積極的に活動し、町民の福祉向上に尽力されました。

農業振興功労者として、長年にわたり平内町農業委員会委員および平内町農業振興対策協議会委員として活躍し、またこの間、会長等の要職を歴任し、豊富な識見と卓越した手腕を発揮するなど農業の発展に多大な貢献をされ、さらには町行政協力委員としても積極的に活動し、町民の福祉向上に尽力されました。

漁業振興功労者として、長年にわたり平内町漁業協同組合理事をはじめ、むつ湾漁業振興会理事等を歴任し、ホタテ養殖業の振興に力を注ぎ、また豊富な識見と卓越した手腕を発揮し、漁場の有効利用と適正管理や流通機構の改善を図るなど、当町ならびにむつ湾の漁業の発展に尽力されました。

統計調査の協力に感謝

去る10月29日(金)、十和田市民文化センターにおいて第43回青森県統計大会が開催され、日ごろ統計調査に功績のある調査員の表彰式が行われ、当町からは2名が表彰されました。

辻村義博さん(第2平中)は、昨年実施された2003年漁業センサスでの調査内容が顕著であると優秀調査員に選ばれ、農林水産大臣表彰を受賞されました。

また、伊瀬谷正一さん(第1平中)には、経済産業省が実施してきた諸調査に40数年も貢献し続けていることが認められ、経済産業省感謝状が交付されました。

お二人の更なるご活躍を祈念いたします。



▲優秀調査員の辻村氏

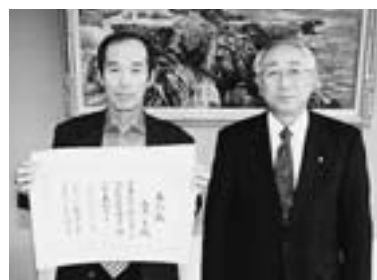


▶感謝状を手にする伊瀬谷氏

農事功績者として表彰

11月29日(月)、工藤一幸さん(助白井)が町長を訪れ、農事功績者として表彰されたことを報告しました。

これは、社団法人大日本農会が、農業の発展に貢献した者を農事功績者として表彰しているもので、青森県が工藤さんを酪農部門として推薦したところ、県内でも3年ぶりと、とても名誉ある「緑白綬有功章」の受章が決まったものです。



▶11月17日(水)、東京都で行われた表彰式にも出席してきた工藤氏

生涯学習のめざすもの

Vol. 90

地域で学ぼう

地域で生かそう

知恵となつかしさと ひらかないカレッジ

知る11月24日(水)、平内町教育委員会主催のひらかないカレッジいきいきコース「第10回講座」先人の技を学ぼうが、山村開発センターで開催され、沼館老人クラブの山谷アサ子さんを講師に、わら草履作りを学びました。



▲みんなで輪になって草履作り

まず、わらを縄にするという方を教わりましたが「子ども頃に親の手伝いをした」など、腕に覚えのある受講生も



▲コゴばこうして、こうやせばイイのさ〜

多く、あつという間に縄をなっていました。

次に、なつた縄を足の指にかけて草履に編んでいくのですが、編み始めの部分が難しく、何度も先生に聞きながら、形を作っていくきました。編む手を動かしながらも子どもの頃に思いを馳せ、昔話に花を咲かせながらの作業は、2時間が瞬く間に過ぎました。

草履のできあがりには、足のサイズより細長かったり大きすぎたりと、思い通りにいかない受講生もいましたが、わ

らの感触をなつかしみながら、必要な道具を身近にあるもので手作りするという先人の知恵のすばらしさを改めて感じることができました。

元気はつらつ

あおもり学講座

11月10日、東青教育事務所主催の「あおもり学講座」元気はつらつダンベル体操が行われ、37人が参加しました。ダンベル体操は初めてという受講生も多く、セントラルフィットネススクラブインストラクターの大内芙美子さんを講師に、ペットボトルに水を入れた簡易ダンベルを使って基本の動きを教わりました。



▲初めて持つダンベルにちょっと緊張気味…?

「意識と継続で体が変わり

ます」大内さんの言葉に心を引き締め、日頃の運動不足を解消しようと、参加者はゆつくりと腕や背中、太ももの筋肉を動かしました。

後半は、軽快なリズムに乗ってソフトエアロピクスとダンベルを組み合わせたながら、1時間程運動を続けました。運動後は、顔や背中から汗がどつと噴き出し、体の中から爽快感が沸き起こりました。無理することなく、呼吸をしつかり取り入れながら運動することが大切だそうです。自分の体をつくる意識が健康づくりにつながります。

町立図書館

紹介コーナーその60

新刊図書紹介コーナー

- ①夜のピクニック
- ②マイマイ新子
- ③雛の家
- ④花のうた紀行
- ⑤火天の城
- ⑥アサシン
- ⑦私の遺書
- ⑧患者力
- ⑨ギャンブル依存とたたかう
- ⑩プロ野球歳時記

- | | | |
|-----|-----|-----|
| 陸子彦 | 陸子彦 | 陸子彦 |
| のぶ | のぶ | のぶ |
| 光あ | 光あ | 光あ |
| 兼冬 | 兼冬 | 兼冬 |
| 愛明 | 愛明 | 愛明 |
| 蓮蓬 | 蓮蓬 | 蓮蓬 |
| 永 | 永 | 永 |

わくわくおはなし会

- 日時 1月8日(土) 10:00~
- 場所 おはなしコーナー

第4回平内町伝統芸能発表会

平内町各地域で大切に保存・伝承されてきた伝統芸能がいま、一堂に会します。地域の歴史を伝え、受け継ぐ人々の熱い思いを感じてみませんか？

- 日時 平成17年2月19日(土) 13:00~
- 場所 平内町勤労青少年ホーム
- ☆お問い合わせ先 平内町勤労青少年ホーム

入場無料

☎755-2111(内線162)

生涯教育の町を視察 生涯学習のまちづくり 推進会議

平内町生涯学習のまちづくり推進会議・学習文化部会（向井麗子部会長）は11月26日、岩手県金ケ崎町を訪れ、視察研修を行いました。

金ケ崎町は、25年前に「生涯教育の町」を宣言し、全国に先駆けて生涯学習を推進しているところ。研修では、生涯学習の拠点となる公民館と地区公民館の連携のしくみや学習機会の提供について説明していただき、「地域に根ざす学習」を工夫してきたことがわかりました。

午後には伊達藩金ケ崎城内

生涯学習カレンダー 1月	
1日(土)	○元旦 ○よごしやま温泉臨時営業(10:00~17:00)
4日(火)	○官公庁仕事始め
5日(水)	○平内町消防団出初式 ○よごしやま温泉臨時営業(10:00~21:00)
10日(月)	○成人の日
17日(月)	○管内小・中学校3学期始業式
18日(火)	○松風塾高校3学期始業式

このページのカレンダーは、その月の主な行事と「生涯学習カレンダー」に記載されている事業に変更があったものを記載していますので「生涯学習カレンダー」と照合してご活用ください。



▲ボランティアガイドから家臣屋敷の説明

の家臣屋敷が残る「重要伝統的建造物群保存地区」をボランティアガイドの案内で散策しました。屋敷には今も子孫が住んでおり、小路や生垣に当時の面影が残っていました。町を愛し、地区の保存に携わっていかうとする町民の気持ちが感じられました。

生涯学習ボランティアコーナー 87

めんこい園児と交流会

デイサービスセンター ひまわり 報告

11月6日、東和保育園の園児たちがグループホーム陽だまりの家ひまわりを訪ね、楽しい交流が行われました。園児たちが玄関に到着すると入居者18名はホールに集まり、笑顔と拍手で出迎えました。

交流会では、園児たちがかわい衣装を身にまとい、ホール狭しと元氣よくお遊戯を披露してくれました。入居者の方々は、久々にふれあう子供たちの姿に目を輝かせ、ひ孫でも見るかのように満面の笑みを浮かべながら見ていました。お遊戯が終わるたびに



▲勇ましい遊戯を披露した園児たち



▲かわいい姿に入居者もニコリ!!

たくさん拍手を送り、「じよんずだつたよ」と声をかけていました。また、「ハナっこけねばまいね」というお年寄りもあり、交流会は大変盛り上がりしました。

園児たちが帰った後も、入居者同士で「めんこがったつきゃ」と子供たちのことを思い出しては、話題にしてみました。短い時間でしたが、とても楽しい一時を過ごすことができました。東和保育園の園児の皆さん、ありがとうございます。また来てくださいね!!



まなびの
広場

●ひらないかしッジ
1月の講座案内

【いきいきコース】

◆閉講式

○日時 1月26日(水)
午前10時~12時

○場所 開発センター

【いきいきコース】

◆ハンドメイドフェルト教室

○日時 2月14日(月)・18日(金)
午後6時30分~8時30分

○場所 開発センター

○内容 羊毛を使ったおひな様づくり

○講師 佐々木 和子氏

○材料費 800円

○申込み 1月28日(金)まで

※いきがいコースの講座は、講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、はがきでお申し込みください。

☆お問い合わせ・お申し込み先

〒039-3321

平内町小湊字下槻12-1

平内町教育委員会 社会教育課

☎755-2111(内線353)

僕たちの 私たちの 浦田小学校



先月から3カ月にわたり、「今月のスポットライトコーナー」をお休みして、今年度限りで閉校する小学校を紹介しています。
今月は、去る11月13日(土)に閉校式が行われたばかりの平内町立浦田小学校を紹介いたします。



◀イオン柏でインタビュー

(校) はい。前には桜並木が、後ろには松や杉などを配した美しい校舎は最高です。
担当者が「ココしかない」と見つけたという、青森県のスポーツ立県宣言のポスターに採用された平屋建ての校舎はとても趣おもむきがあります。
また、家庭や地域の方々の温かい心です。学校行事には必ずと言っていいほどの積極的な支援をしてくれて、本当にありがたかったですね。
(一) その地域に做なまうかのよ



▲第22代校長 小笠原 正 典 先生

来年から山口小学校に統合となる浦田小学校は、122年という長い歴史にピリオドを打つことになりました。
閉校する前に、小笠原校長先生から浦田小の最高の自慢話などを聞いてきました。
(一) 広報担当者
(校) 小笠原正典 校長
(一) まず、浦田小学校の魅力



▲みんな揃って食べる、楽しい給食の時間

うに子供たちも活動的だといいましたが…?
(校) そうですね、「総合的な学習の時間」のタイトルは『浦田発交流会行き』というくらいですから…。
清風荘に対して6年間で5台の車椅子を寄贈した実績のあるアルミ缶回収活動や海岸清掃などの社会奉仕活動とお父さんたちが先生として参加してくれる「浦田のほたてを知ろう・守ろう・伝えよう」の時間があります。
(一) 最後に子供たちへのメッセージをお願いします。
(校) はい。どこへ行っても「夢に向かったたくましく生きる心豊かな浦田の子」であってほしい…。夢や希望に向かつて前進を!!

去年の運動会の『将来の夢』という競技の中で、アイドルの仮装をしてみんなの前で歌を歌ったことが思い出です。



■工藤 歩美香さん(2年)

一番頑張ったのは、小学生弁論大会です。お父さんと何回も練習しました。
山口小でも頑張ります。



■後藤 恭 祐くん(2年)

僕の思い出は、学習発表会の劇で、バナナを2本も食べたことです。あれはおいしかったなあ…。



■福田 純 也くん(1年)

僕たち私たちがからの一言

長い間ありがとう!! そしてお疲れさま!!

浦田小学校略年表

- ◇明治16年 浦田簡易小学校創立。
- ◇昭和22年 西平内村立浦田小学校と改称する。
- ◇昭和23年 西平内中学校浦田分校を併置する。
- ◇昭和29年 分校から昇格し、西平内村立浦田中学校となる。
- ◇昭和30年 平内3町村の合併により平内町立の浦田小学校、浦田中学校となる。
- ◇昭和60年 浦田中学校が閉校。
- ◇平成4年 町小学校卓球大会3連覇。
- ◇平成7年 フジテレビ「あっぱれさんま大先生」に全校児童が出演。
- ◇平成13年 小学校体育大会で6年男子が400mリレー新記録樹立。
- ◇平成16年 ABA「未来新聞を作ろうコンテスト」で優秀賞を受賞。



清風荘訪問や学習発表会など、とても良い思い出がいっぱいできました。学校にもみんなにも、ありがとう!!



■豊島 一基くん(4年)

『西の家』の訪問で、おばあちゃんたちとドップ引きなどをした時がとても楽しかった。山口小に行っても訪問できたらいいな…。



■工藤 駿くん(3年)

浦田小へ通えなくなるのは寂しいですが、今は、人数の多い山口小へ行くのがとても楽しみな気持ちです。



■豊島 夏子さん(3年)

浦田小は人数が少ないので、みんなのことが分かりやすいです。山口小でもみんなのことをすぐにでも覚えたいです。



■後藤 将太くん(5年)

校舎は古いけど大好きだったし、みんなとても仲良く遊べました。早く山口小に慣れ、6年として頑張ります。



■後藤 優希さん(5年)

合唱も器楽も劇も、全部うまくいった閉校記念の学習発表会が一番の思い出です。絶対に忘れません。



■豊島 瑠可さん(4年)

行事の一つひとつがとても楽しい思い出です。たくさん思い出を持って、西平内中へ行って頑張りたいです。



■豊嶋 悠輔くん(6年)

古い校舎だけど、台風や雪から僕たちを守ってくれました。中学校へ行って、みんなや学校を絶対忘れません。



■豊島 健史くん(6年)

私は今まで友達に頼ることなく、自分から勉強や友達づくりに頑張ります。



■豊嶋 ゆう子さん(5年)

—あなたの健康 みんなの笑顔—
保健福祉だより
 お問い合わせ先 保健福祉課

教えて!!インフルエンザ

—の時期になると心配されるのがインフルエンザ。インフルエンザはインフルエンザウィルスの感染によって発症します。インフルエンザウィルスは低温と乾燥の気候

で流行しやすいと言われています。また、重症化すると肺炎、脳症などの深刻な合併症を引き起こしてしまう可能性もあります。

Q どうやって感染するの？

感染者が会話やせき、くしゃみなどをするとインフルエンザウィルスが放出されます。そのウィルスを吸い込むことで感染します。多くの場合、この距離は1メートル程度と考えられています。特に電車や学校など人の多く集まる場所には注意が必要です。

Q 感染を防ぐには？

インフルエンザの最も効果的な予防法は、流行前に予防接種を受けることです。100%予防することはできませんが、発症しても重症化を防ぐことができます。また、感染予防には次の3つのポイントが大切です。

Q 風邪との違いは？

風邪のウィルスに比べて、急激に強い症状を引き起こします。また感染力が強いので、集団発生します。主な違いについては次の通りです。

①感染経路を遮断する

- 外出後はうがいをし、せっけんで手を洗う
- 流行する時期は人ごみを避ける
- 部屋の換気を定期的に行う



②抵抗力をつける

- 十分な栄養と睡眠をとる
- 過度な厚着は避け、適度な運動をする

③ウィルスを近づけない

- 病人のいる部屋は換気をよくする
- 発症したらマスクをし、外出を避けて他人にうつさない。

風邪とインフルエンザの区別と目安

	風 邪	インフルエンザ
流行シーズン	ない(通年かかる)	ある(11月～3月ごろ)
病気の経過	ゆるやかに進む	急激に進む
初期症状	くしゃみ・のどの乾燥感・鼻水など	悪寒・高熱・頭痛
発熱	微熱(37～38℃)	高熱(38～39℃)
合併症	肺炎・気管支炎など、あるが少ない	肺炎・気管支炎などが起こりやすい

この季節に欠かせないものといえば暖房器具です。寒い夜に湯たんぽやあんかで温まった布団に入るのは気持ちが良いものですが、気を付けなければならないのが低温やけどです。

低温やけどは体温より少し高い熱が数時間作用することで起こります。一般に、触れていると温かい60度ぐらいでは1分間、50度ぐらいでは3分間押しつけていると低温やけどになると言われています。

特に冷え性で暖房器具を使う機会の多い人は要注意です。また、熟睡している時、泥酔状態の時なども知覚が鈍くなり、低温やけどになる危険性が高くなります。

予防するには次の点に注意しましょう。また、低温やけどは見た目よりも重傷の場合があるので、早めに病院で診てもらおうようにしましょう。

低温やけどに注意!!


～健康相談の日程変更のお知らせ～

清水川・狩場沢地区の健康相談

- 期 日 1月4日(火)
- 時 間 午後1時～3時

- ①商品の注意表示をよく見て、使用時間、使用温度、使用方法を守る。
- ②比較的低温でも長時間圧迫すると低温やけどになるので、体の位置を変えたりして圧迫しないようにする。
- ③使い捨てカイロなどは1か所に固定しない。また睡眠中には使用しない。
- ④電気カーペットの上では寝ないようにする。

『血糖値が高い』 と言われた方へ

 血糖値が基準よりも高い場合、まず疑わなくてはならないのが「糖尿病」です。

糖尿病は、ほとんど自覚症状のないまま進行していきます。それだけに検査で「血糖値が高い」といわれても、放置しておく人もいます。

しかし、血糖値の高い状態が長く続くうちに、糖尿病が引き金となる合併症（網膜症、腎症、神経症）を起こし、命にかかわることもある病気です。

糖尿病の治療の基本は、食事と運動です。エネルギーの摂取量と運動量の注意を生活に無理なく取り入れ、継続していく工夫が必要です。

1月の健康相談では、血糖値のコントロールについてお話ししますので、ぜひご利用ください。

保育所新規・継続入所申込受付のお知らせ

平成17年度保育所新規・継続入所する園児を下記の日程で受付いたします。

なお、ご都合により指定された受付日に申し込みができない方は、受付期間中に随時受付します。

■受付期間及び場所

- 期間 平成17年 1月24日(月)～28日(金)
- 時間 午前9時～午後5時
- 場所 平内町勤労青少年ホーム
1階「学習室」(事務室隣り)

■保育所に入所できる基準

町内に住民登録している家庭で、下記のいずれかの事情にある場合、保育所に入所できます。

ただし、その家庭において、保育できる方がいる場合は入所できません。

- 保護者が昼間に家庭の外で仕事をしている場合
- 保護者が昼間に家庭内で児童と離れて仕事(自営業・内職等)をするため、児童の保育ができない場合
- 母親が妊娠中であるか、出産後間もない場合
- 保護者が病気や心身障害などにより、児童の保育ができない場合
- 保護者が病人や心身に障害のある人を常時介護している場合
- 火災や風水害、地震などの災害のため、その復旧の間、児童の保育ができない場合

※求職中でお申し込みの方は、保育の開始日から6カ月以内に就労証明書等の提出がない場合は引き続き入所できない場合があります。

保育所名	所在地	定員	受付月日
山彦保育園	山口	30人	1月24日(月)
東和保育園	東和	90人	
小湊保育園	本町	45人	1月25日(火)
口広保育園	口広	60人	
東田沢保育園	東田沢	30人	1月26日(水)
平内中央保育園	勝田町	60人	
青空保育園	清水川	60人	1月27日(木)
緑が丘保育園	藤沢	60人	
双子へき地保育所	浦田	30人	1月28日(金)
大和山へき地保育所	大和山	30人	

■入所申込みに必要な書類

- ①保育所入所申込書(新規の方)または継続入所申込書(継続の方)
 - ②児童の扶養義務者(父・母)の源泉徴収票(平成16年分)または確定申告書の控え(平成16年分)(平成16年1月2日以降に当町へ転入された方は、前住所地の発行する平成16年度住民税課税証明書も提出してください)
 - ③就労証明書
 - ④診断書(病気及び看護の場合)、母子健康手帳(出産予定の方)
 - ⑤印鑑
- ※①または③の書類は、保健福祉課福祉係および各保育所に備え付けてあります。

☆お問い合わせ先

役場 保健福祉課 福祉係

☎755-2111(内線128)

平内町 子育て支援センター 1月の行事予定表

子育てに関する様々な悩みごとや相談ごとはこちらまで!!

◆子育て支援センター

☎758-1214

日程	活動	内容	備考
1月13日(木)	雪んこ誕生会 9:15～11:00	・保育園のお友達と一緒に誕生会に参加しましょう	◆申し込み必要(8日まで)
1月15日(土)	びよびよ絵本サークル 10:00～	・絵本や紙芝居の読み聞かせ(町立図書館 おはなしコーナー)	◇申し込み不要
1月21日(金)	親子ふれあいワーク 9:45～11:00	・保育園のお友達と一緒にお店やさんごっこを楽しみましょう	◆申し込み必要(13日まで)
1月26日(水)	すくすくクラブ 9:30～11:00	・身体測定 ・鬼のお面づくり	◇申し込み不要

—基本健診「要指導」と判定された方が対象—

「元気はつらつ教室」参加者募集!!

民生委員児童委員ならびに 主任児童委員が新たに委嘱されました

担当地区	委員氏名	担当地区	委員氏名
一内童子・二内童子	佐々木 直子	福島・福館・平川	熊谷 市子
第一平中	船橋 シズ子	外童子・大和山	太田 照則
新生町	吉崎 昌子	松野木・薬師野	八戸 和子
第二平中	山谷 和子	一本松・清水川	田中 みわ
赤坂台	太田 孝蔵	第一小林	船橋 チセ
本町・下町	清水 恵子	第二小林・第三小林	亀田 玉枝
寺町	倉本 ムツ子	第一口広	井筒 けい子
第一元町	篠村 麗子	第二口広・口広開拓	江戸 ヒサエ
第二元町・川原町	荒内 辻子	折戸・狩場沢	熊谷 優
第一勝田町	天間 昭	陸奥ヶ浦・助白井	大森 梅子
第二勝田町	成田 弘子	藤沢・第二藤沢	逢坂 ゆみ江
緑町	福土 ユリ	山口	須藤 つぶ子
東沼館・夜越山	川越 キヨ	小豆 沢	今 貞紀
西沼館	飯田 誠一	中野・上中野・板橋	須藤 論
浜子	工藤 フサ	土屋	逢坂 光子
東和	飯田 サツ	浪打	山崎 せき子
浅所	宿野部 初男	茂浦	佐々木 一義
間木	宿野部 弘子	浦田	豊島 彰
東滝	佐々木 務	稲生	蠣崎 忠夫
上・中東田沢	加藤 ミノリ	主任児童委員	亀田 令子
野内畑・下東田沢	福田 香代子	主任児童委員	藤田 友子
白砂	柴田 武信	主任児童委員	高橋 姫子
盛田	荒内 テイ子		

平成16年12月1日をもって平内町民生委員児童委員ならびに主任児童委員が厚生労働大臣より委嘱されました。各委員とも任期は3年で、今回は新任が13人、再任が32人の合わせて45人の方々が選任されました(左表参照)。

また、このたび、次の方々が退任されました。

二内童子担当の相坂福次郎

さん(36年)、本町担当の辻村美代子さん(6年)、二元町担当の本堂スミイさん(15年)、西沼館担当の船橋光子さん(12年)、東和担当の垂井兼太郎さん(12年)、浅所担当の三津谷秀子さん(10年)、野内畑担当の加藤寿一さん(24年)、一小林担当の塩越政春さん(18年)、助白井・陸奥ヶ浦担当の工藤一幸さん(6年)、山

口担当の本堂清一さん(18年)、中野・上中野担当の須藤正光さん(12年)、浪打担当の三津谷ツルヨさん(24年)、茂浦担当の佐々木敏雄さん(27年)の13人です。

退任される皆様には長い間、各地区の相談役として奔走され、本場にありがとうございました。

第43回平内町町民スキー大会

◆期 日 平成17年2月5日(土)

◆競技種目

□小学生オープン(各校人数制限なし)

- 距離 1～2年生 男女とも1km
- 3～4年生 男女とも2km
- 5～6年生 男3km、女2km

○大回転 1～6年生男女

○リレー 2km×4人(混合男女各2人)

□中学生オープン(各校人数制限なし)

○距離 男女とも3km ○大回転 男女

○リレー 男3km×4人、女2km×4人

□一般の部オープン(年齢制限なし)

○距離 男女とも2km ○大回転 男女

◆参加資格 町内在住および勤務、または平内町スキークラブ登録者

◆申込期限 平成17年1月26日(水)

(小・中学生の参加においては、各学校で取りまとめ)

☆お申し込み・お問い合わせ

平内町教育委員会 社会教育課 ☎755-2111(内線344)



産業別最低賃金 改正のお知らせ

◇鉄鋼業(平成16年12月21日から)

時間額 723円

◇電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業(平成16年12月21日から)

時間額 666円

◇各種商品小売業

(平成16年12月21日から)

時間額 662円

◇自動車小売業

(平成14年12月21日から)

時間額 700円

※前記の産業以外に適用される青森県最低賃金は、平成16年10月1日から時間額606円です。

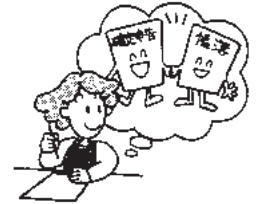
☆お問い合わせ先

青森労働局 賃金室

☎734-4114

平成17年度納税相談(申告)の日程について

平成17年度の納税相談(申告)を下記の日程により実施しますので、必ず申告くださるようお願いいたします。なお、期間中に都合のつかない方は、税務課へお問い合わせのうえ、申告の手続きをとってください。



月日	町内名	場所	時間
2月4日 (金)	山口・上中野	山口コミュニティセンター	10:00~14:00
	小豆沢	公民館	10:00~14:00
2月7日 (月)	薬師野	農業構造改善センター	10:00~14:00
	松野木	公民館	10:00~14:00
	盛田	公民館	9:30~11:30
2月8日 (火)	野内畑	集会所	10:00~12:00
	東田沢	防雪管理センター	13:30~14:30
	白砂	公民館	10:30~11:30
	東滝	コミュニティセンター	13:00~15:00
	浜子	総合研修センター	9:30~11:30
	東和	コミュニティセンター	13:00~15:00
	一本松	行政協力委員宅	10:00~11:30
	口広開拓	集会所	13:00~14:00
2月9日 (水)	福館・平川	山の手コミュニティセンター	9:30~11:30
	浅所	公民館	13:00~15:00
	福島	集会所	9:30~11:30
	間木	コミュニティセンター	13:00~15:00
	助白井	行政協力委員宅	10:00~14:00
	茂浦	コミュニティセンター	10:00~11:30
2月10日 (木)	土屋	コミュニティセンター	10:00~11:30
	浪打	コミュニティセンター	13:00~14:30
	沼館・緑町・夜越山	児童館	10:00~14:30

月日	町内名	場所	時間
2月14日 (月)	中野・板橋	コミュニティセンター	9:30~11:30
	藤沢	コミュニティセンター	13:00~15:00
	折戸・狩場沢・陸奥ヶ浦	狩場沢公民館	10:00~14:00
2月15日 (火)	清水川・小林	コミュニティセンター	10:00~14:00
	口広	コミュニティセンター	10:00~14:00
2月16日 (水)	一・二内童子	公民館	10:00~14:00
	外童子	へき地保健福祉館	10:00~14:00
2月17日 (木)	上記を除く 小湊町内	勤労青少年ホーム 体育室	9:30~14:30

還付申告受付(申告)日程		□時間 9:30~14:30
		□場所 勤労青少年ホーム体育室
2月21日(月)	西地区	
2月22日(火)	1・2平中、新生町、赤坂台、本町、寺町、下町、川原町、1・2元町、1・2勝田町、東・西沼館、緑町、夜越山	
2月24日(木)	浜子、盛田、福島、福館、平川、東和、浅所、間木、東滝、白砂、東田沢、野内畑、1・2内童子	
2月25日(金)	東地区	

※ お問い合わせ先 役場 税務課 住民税係
☎ 755-2111(内線246・259)

第6回夜越山ジュニアスキー大会

- 期 日 平成17年2月12日(土)
- 競技種目
 - 大回転競技(出走順)
 - ①幼児女子の部 ⑤小学3年女子の部
 - ②幼児男子の部 ⑥小学1年男子の部
 - ③小学1年女子の部 ⑦小学2年男子の部
 - ④小学2年女子の部 ⑧小学3年男子の部
 - 距離競技(出走順) いずれも約1km
 - ①小学3年男子の部 ④小学2年女子の部
 - ②小学3年女子の部 ⑤小学1年男子の部
 - ③小学2年男子の部 ⑥小学1年女子の部
- 参加資格
大回転競技は、県内の幼児および小学校1~3年に在学する者
距離競技は、県内の小学校1~3年に在学する者
- 申込先
〒039-3391 小湊郵便局留
第6回夜越山ジュニアスキー大会事務局
- 申込期限 平成17年1月21日(金)到着分まで
- 参加料 幼児・小学生ともに2,000円
(申込時に同封してください)
- ☆お問い合わせ先
田村晴男(平内町スキークラブ会長)宅
☎ 755-3292(18:00以降)

第30回ブルーモリスカップ 夜越山スキー大会(青森県スキー連盟公認)

- 期 日 平成17年2月13日(日)
- 競技種目
 - 大回転競技(出走順)
 - ①小学4年女子の部 ⑤小学5年男子の部
 - ②小学5年女子の部 ⑥小学6年男子の部
 - ③小学6年女子の部 ⑦中学校女子の部
 - ④小学4年男子の部 ⑧中学校男子の部
 - 距離競技(出走順)
 - ①中学校男子(5km) ⑤小学6年女子(2km)
 - ②中学校女子(3km) ⑥小学4年男子(3km)
 - ③小学4年女子(2km) ⑦小学5年男子(3km)
 - ④小学5年女子(2km) ⑧小学6年男子(3km)
- 参加資格
青森県内の小学生(4年以上)および中学生で、
監督・コーチまたは保護者が引率できる者
(保護者の同意が必要)
- 申込先
〒039-3391 小湊郵便局留
第30回ブルーモリスカップ夜越山スキー大会事務局
- 申込期限 平成17年1月21日(金)到着分まで
- 参加料 小学生・中学生ともに2,500円
(申込時に同封してください)
- ☆お問い合わせ先
田村晴男(平内町スキークラブ会長)宅
☎ 755-3292(18:00以降)



税務課より

助け合い制度としての

国民健康保険税

国民健康保険(国保)は、病気やケガに備えて、国保加入者がそれぞれの収入などに応じた掛け金(国保税)を出し合い、そこから医療費を支払うための助け合いの制度です。

お店を経営している人や農業、漁業に携わっている人など、職場の社会保険などに加入している人以外のすべての人が加入します。

国保税は、大人や子供の区別はなく、一人ひとりが被保険者となり、世帯ごとに参加します。

●国民健康保険税を納めないでいると…

国保加入者の皆さんは、医療費の一部を負担するだけで医療を受けられると同時に、国保税を納める義務もあります。もし、国保税を納めない人がいると、国保の運営が困難になり、医療費をまかなえなくなってしまう。国保税は必ず納めましょう。

国保税を納めないでいると、その未納期間に応じた厳しい措置がとられますので、十分注意してください。

また、介護保険の保険料を国保税と合わせて納めることから、もし国保税を滞納していると、介護保険の給付についても制限されることとなります。

納税相談

生活保護を受けたり、災害、その他の理由により税金を納めるのが困難な場合、それに応じて税金を免除、減額



される
ことが
あります。
また
一度に

納付することが困難な場合は、分割納付などでもできますので、納付方法などについてもお気軽にご相談ください。

口座振替(自動払込)を

ご利用ください

あなたの町税を、あなたの指定預金口座から自動的に差し引いて納税する方法です。

なお、申し込み手続きは、次の金融機関に預金口座をお持ちの方は、その金融機関または役場税務課に預貯金用印鑑をご持参のうえお申し込みください。

○指定金融機関

▼青森銀行本・支店

○収納代理店

▼みちのく銀行小湊支店▼あおもり信用金庫小湊支店▼青森県信用組合小湊支店▼新あおもり農業協同組合平内支店▼平内町漁業協同組合本・支所▼日本郵政公社管内郵便局

国民年金

失業による免除申請は

お早めに!!

国民年金保険料を納めることが経済的に困難な方のために国民年金保険料が免除される制度があります。

免除制度は、前年の所得を基に審査しますが、前年度または当年度に会社を退職し、失業している方は「国民年金保険料免除申請書(全額・半額)」に失業を確認できる書類を添付することで、特例的に失業した方の所得がないものとして審査されます。

(世帯主、配偶者に所得があるときには免除が認められない場合もあります)

◆失業が確認できる書類

○雇用保険受給資格者証

○雇用保険被保険者離職票

○雇用保険被保険者資格喪失確認通知書

○離職者支援資金の貸付決定通知書など

国民年金保険料が免除された期間は、将来、老齢基礎年金を受給する際には、保険料を含めた場合とくらべて全額免除は3分の1、半額免除は3分の2に相当する額が保障されます。

※半額免除は、半額の保険料を納めないと未納期間として

扱われます。

また、障害基礎年金、遺族基礎年金を受給するために必要な期間として扱われます。

失業により保険料を納付することが困難な方は、未納のままにせず、役場町民課の国民年金係にて免除申請することを勧めます。

国民年金保険料は

全額所得控除の対象

平成16年1月から12月までの期間に納めた国民年金保険料は、「社会保険料控除」として、全額所得控除の対象となります。

控除が受けられるのは、平成16年中に毎月納めた保険料や前納した保険料、過去の未納期間分または免除を受けた期間分を納めた保険料等、平成16年中に納めた保険料すべてが該当します。

また、ご家族の分として納めた国民年金保険料も控除の対象となります。

※参考として

◇平成16年国民年金保険料	月額	1万3300円
	年額	15万9600円

青森社会保険事務所

年金相談の時間延長と

休日開設のご案内

青森社会保険事務所・青森年金相談センターでは、待ち時間の解消や平日昼間に相談できない方への相談の機会を拡充し、それに合わせて国民年金保険料の納付相談・免除申請書の受付も行います。

◆毎週月曜日の時間延長

12月6日以降の毎週月曜日は、年金相談の受付時間を、午後7時まで延長します。

○月曜日が祝日となった場合は、火曜日となります。

○1月31日(月)と2月28日(月)は、システムの都合により時間延長できませんので、通常どおりの午後5時までの受付となります。

◆休日開庁による年金相談

▽1月22日(土)▽2月19日(土)▽20日(日)▽3月12日(土)▽13日(日)の5日間は、休日に社会保険事務所を開庁して年金相談を実施します。

○受付時間

午前9時30分～午後4時

町農業委員会

農業委員選挙人名簿

登録の申請を

毎年1月1日現在で、農業者の申請に基づき、農業委員会選挙人名簿が調整されます。

申請書の用紙は、12月下旬に農家台帳に記載されている農家に郵送されますので、必要事項を記入し、署名・押印のうえ、同封の返信用封筒(切手不要にて御返送ください)。(申請用紙が届かなかつた方でも資格要件に該当すれば申請することができます)

なお、当町に住所を有する方で当町以外に農地を持ち、その農地につき耕作の業務を営み、資格要件を満たしている方は、農業委員会事務局で申請手続きをしてください。

■資格要件(次の3つの要件をすべて満たす人です)

①平成17年1月1日現在で平内町に住所を有し、10アール以上(一反歩)の農地につき耕作の業務を営む者

②上記の者と同居の親族およびその配偶者で、年間概ね60

日以上農業に従事している者

③年齢が満20歳以上の者

(昭和60年4月1日以前に生まれの方)

■申請書提出および申請期限

平成17年1月10日(厳守)

☆お問い合わせ先

平内町農業委員会

☎755-2111

(内線253)

青森県広報聴室

あなたの声を県政に!!

県政モニター募集

県では、広く県民の皆様から意見・要望などをお聞きし、施策の企画・立案の参考にするため県政モニターを募集しています。

○応募資格

県内にお住まいの満20歳以上の方(議員・公務員・行政相談委員、国やその他の公共団体のモニター、平成12年度以降に県政モニターを経験した方は除きます)

○募集人員

○期間

70名程度

平成17年4月下旬から

およそ2年間

○仕事

①アンケートに対する回答(年4回程度)

②県政モニター会議への出席(1回)

③必要事項(※)を記入して、官製はがきまたはEメールでお申し込みください。

○応募方法

※郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・性別・生年月日・職業・電話番号・希望する理由・各種モニターの経験・Eメールをお使いになる方はEメールアドレス

○応募締切(当日消印有効)

平成17年2月10日(木)

○結果通知

平成17年3月末までに全員に通知します。

○その他

1年ごとに記念品を贈呈。

☆お問い合わせ(お申し込み)

青森県 特別対策室

広報聴室 県政モニター係

〒030-3570

青森市長島1丁目1-1

☎734-9138(直通)

Eメールアドレス

Koho@ags.pref.aomori.jp

放送大学学生募集

放送大学では、平成17年度第1学期(4月入学)「教養学部生」、「大学院修士選科生」および「大学院修士科目生」の学生を募集します。

○出願受付期間

平成16年12月15日(水)～平成17年2月28日(月)

☆お問い合わせ先

放送大学青森学習センター

☎0172-38-0500

放送大学ホームページ

http://www.b-u.ac.jp/

※資料請求・出願可能です

あなたも参加 わたしもやります "安全運転"

県内の交通事故概況

平成16年		青森県交通対策協議会	
発生	死者	死者の状況	死者
11月中	年累計	飲酒運転による死者	17人(+8)
754件(-38)	7,764件(-472)	高齢者の死者 ～65歳以上の人～	41人(+2)
7人(-7)	98人(+8)	自動車乗車中の死者	53人(+7)
973人(-25)	9,855人(-513)	非着用死者	33人(+12)
		着用していれば助かっ たと思われる人	20人(+12)

※()内は前年比。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。毎月1日は県民交通安全の日

“冬道安全運転宣言”

早めの出発を心掛け、スピードは抑えましょう!!

駅前花壇清掃活動

商工会女性部

11月10日(水)、商工会女性部は、小湊駅前の花壇清掃を行いました。

16年度の女性部の活動計画として、「小湊駅前をきれいに」を合言葉に、駅前花壇の花の植え付けや育成、除草等の花壇整備を年4回の奉仕活動として計画しました。

この日は、今年最後の活動で、暖かい秋晴れの中、花壇周辺の枝切りや後片付けなどを行いました。

作業中、早くも来年の活動に話が飛ぶと、来年も「環境美化」を合言葉に頑張ろうと今年以上にきれいに咲く花を思い浮かべていました。



▲「きれいな町」へは、玄関口の小湊駅前から…

反射材の配布と

独居老人宅を訪問



▲ココが車のライトなどに反射するんですヨ…

平内町交通安全母の会と平内幹部交番では、11月17日の朝、病院待合室にて反射材貼付活動をしました。

お年寄りの方には、夜間外出時に目立つようにと、靴やカバンなど身の回りの物に反射材を貼ってあげました。

その後、独居老人宅を訪問し、いつも履いている靴などへ反射材を貼り付けて、交通安全への注意とともに、自宅に鍵を掛けるなど防犯意識の向上を呼びかけました。

※これからの時期は、歩道へも雪が積もり、車道を歩かなくてはいけないことが多くなります。

茂浦地区で

防犯活動を展開

交通事故を無くすため、歩行者は明るい色の服を着たり反射材を貼るなどして、ドライバーに自分を早く発見してもらう努力をしましょう。

11月4日(木)、平内地区防犯協会茂浦支部では、須藤昭義支部長以下7名が平内幹部交番員や山口駐在所員とともに、茂浦町内の通行人や各家庭を訪問し、振り込め詐欺防止を喚起するチラシや、交通事故防止のための反射材を配布しました。

また、訪問先の家庭や路上などに駐車されていた車の施錠状態や車内の状況等を防犯



▲年末年始は、特に十分な防犯意識を!!

診断し、その結果を載せた「防犯診断カード」を配布するなど注意を呼びかけました。

町内の70余人の剣士が

熱戦を繰り広げる

第26回町民剣道大会(体育協会主催)が西平内中学校を会場に開催されました。

試合の主な結果は次のとおりです。(敬称略)

- ◆小学2年以下男子の部
 - ①井筒大樹(剣心会) ②今祐介(西武館)
- ◆同3・4年男子の部
 - ①寺嶋大賜(剣心会) ②久慈晃太(西武館) ③本堂陽大(同) ④蝦名祐哉(剣心会)
- ◆同女子の部
 - ①畑井光(西武館) ②豊島瑠可(同)
- ◆同5・6年男子の部
 - ①久慈祐平(西武館) ②畑井翔(同) ③能登谷雄樹(剣心会) ④本堂伸英(西武館)
- ◆同女子の部
 - ①寺嶋えりか(剣心会) ②佐々木絵里香(西武館) ③金崎宏美(剣心会) ④佐々木夏海(西武館)
- ◆中学男子の部
 - ①本堂貴大(西平内) ②工藤共

路(小湊) ③寺嶋大騎(同) ④阿部光大(西平内)

◆同女子の部
 ①今香寿美(西平内) ②須藤美都(西平内) ③櫻庭美咲(同) ④濱田瞳(小湊)

◆高校男子の部
 ①中村和隆(松風塾) ②工藤強生(同)

◆同女子の部
 ①佐藤りか(松風塾) ②木村仁美(同) ③宇都口真理(同)

◆第12回東西対抗戦(小学生)
 □優勝 西軍(西武館)
 □準優勝 東軍

□敢闘賞
 3年生 奥田航生(西武館)
 4年生 加藤安頭(剣心会)

5年生 本堂 星(西武館)
 6年生 細川棕史(剣心会)



人口と世帯数

男… 7,062人(+ 5人)
女… 7,513人(- 2人)
計… 14,575人(+ 3人)
世帯数…5,246世帯(± 0)
平成16年11月末現在
()は、前月との比較

11月受付分

戸籍の窓口



赤ちゃん名(親) 住所地
前田 晴香(靖) 清水川
豊島 光姫(和豊) 稲生
山田 蒼士(隆広) 新生町
熊谷 真結(洋治) 狩場沢
工藤 真結(真樹) 緑町
藤藤 悠良(昭二) 茂浦

お誕生おめでとう

佐々木 澄人(本籍地) 第1内童子
三津谷 真里代 浅所
吉田 栄光 新生町
藤田 順子 間木
倉本 聖司 小豆沢
千葉 仁美 岩手県
工藤 寿一 浜子
阿部 美智代 第2口広
遠嶋 純一 青森市
竹達 美香 平川

ご結婚おめでとう

飯田 義政(66) 勝政 間木 相馬 スエ(92) 山田 毅 浜子
吉田 シワ(91) 輝志 折戸 植村 ミヨエ(75) 勇三 中東 田沢
須藤 儀一(75) 昭俊 茂浦 能登谷 キミエ(73) 憲三 寺町
久保田 一(54) 工藤 智一 川原町 坂本 みよし(89) 淳一 第1平中
太田 恒(83) 通雅 第1口広 佐藤 源三(77) 千代谷 隆宏(26) 丈夫 山口
濱田 喜代美(80) 敏成 浅所 千代谷 隆宏(26) 丈夫 山口

お悔やみ申し上げます(住所地)

戸籍の窓口への掲載は、役場に届け出された時に、本人から確認できたものだけ掲載しております。
なお、他市町村に届け出し、「広報ひらない」に掲載したい方は、直接、役場町民課住民係へご連絡ください。
☎755-2111(内線123)

文芸

語りべの口より狐暮早し
字忘れのペンの転がる秋灯下
仏前に丸く収まる冬林檎
なか空は渡りし鳥の音に満つ
鳥渡る庭の一角めくれおり
幾度も強風くぐる冬林檎
海原の方位確かに鳥渡る
故郷へ想いを託し鳥渡る
晩秋や十和田の湖に刻忘れ
鳥渡る遠くて近き災禍かな
先人の苦節の岬鳥わたる

平内花椿会
須藤 千和子
能登谷 洋子
佐々木 定男
秋山 実希
岡本 みどり
浜田 きみ
竹内 龍一
藤田 友子
福田 博子
八桁 しづゑ
船橋 久枝

夫の背に年輪見ゆる小春かな
妹の星を加える冬銀河
美しく死にたきものよ残る虫
雪囲い他人のやさしき身にしみて
背丸し母に嬉しき小春かな
すぎし日の想いに揺れん花すすき
湯豆腐のほぐれ男がまるくなる
我よりも孤独なりしか冬の蠅
一枝に赤き実をつけ枯葉舞う

平内俳句会
佐藤 むつ子
渡辺 春代
佐々木 初江
青木 禮子
佐々木 うめ
能登谷 瑩子
蝦名 きみゑ
瓜田 愛
平沢 白鳥

秋晴れの山が吸い込む人の群れ
家を出た子の著今朝もまた並べ
あのビルの陰かも君の暮らす街
転職へ使い勝手が試される
里がえり勝手気ままな娘に戻り
秋茄子は食わずなどという嫁がない
好きなこと楽しんでる顔が好き
遣伝子がゆさぶられたり試される
帽子を脱ぐとユーモラスな顔になる
身勝手な奴ほど軽く良く眠る
しがみつくいナゴに扉締めかねる
雪囲いしつかりやるぞ恩返し
孫と見た花火にあった生命線

川柳ひらない
須藤 梨世
神 久女
荒田 つる
沼山 久乃
つじむらりゅうこ
竹内 京子
千代谷 節子
後藤 ただし
海音寺 東山坊
荒谷 想伸
本堂 はじめ
後藤 日出雄
今田 俊亭

平成17年4月1日から ごみの出し方が町指定ごみ袋に変わります

平成17年4月1日から、現在の定額制(一般廃棄物手数料)から、町指定ごみ袋をお買い上げいただく方法に変わります。

これは、廃棄物の発生抑制、リサイクル促進、最終処分場の延命化、焼却委託費の減額およびごみ処理費用の公平化などの目的により、ごみ袋制を導入するものですので、皆様のご理解をお願いします。

◆詳細については、1月下旬から各町内ごとに説明会を開催しますので、参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

◆町指定ごみ袋価格等

※金額には消費税を含んでいます

区 分	大 き さ	価 格 (指定ごみ袋1枚当たり)
燃えるごみ袋 (環境対応型) 乳 白 色	45リットル用	30円
	30リットル用	20円
燃えないごみ袋 透 明	45リットル用	30円
	30リットル用	20円

◆町指定ごみ袋には、必ず「地区名・氏名」を記入して集積場所へ出してください。

☆お問い合わせ先 役場 町民課 生活環境係
☎755-2111(内線116・117)

『2005年農林業センサス』にご協力ください

農林水産省では、5年ごとの平成17年2月1日現在で、全国一斉に“農林業の国勢調査”といわれている『2005年農林業センサス』を実施いたします。

1月下旬から、農林業を営んでいる皆様のごところに、右記の各担当調査員がお伺いし、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いすることになります。

その際には、皆様のご協力をお願いいたします。

農林水産省・青森県・平内町

地 域	調 査 員
小湊地区	畑井俊吉・加藤梅子・中道美佐子・山本由美子・柴田進・細川勝明 佐々木敬子・濱田久美子・三津谷善雄・宿野部忠芳・船橋英樹・工藤節子 三上武逸・木村誠一・木村カツ・荒内護・相坂一成・佐々木和子 竹達裕男・垂井智也・伊瀬谷正一・辻村庄吉・倉本知哉・石田和子 太田文広 ※指導員 遠島金也
西地区	小形孝一・小形輝生・小形好文・佐々木悟・倉内清一・田村晴男 須藤鉄男・田村清一・山崎せき子・蛸崎武義・須藤清仁・後藤正弘 豊島美千久・千代谷誠司・阿部悟・本堂満 ※指導員 須藤正弘
東地区	亀田知子・塩越えつ子・船橋勝浩・船橋美智子・江戸正良・江戸栄子 阿部一男・木立純一・田中登・中新田政美・工藤政道・工藤正義 倉本アサ子・渡邊博・柴崎義昭 ※指導員 井筒仁美

※調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用されません。
☆お問い合わせ先 役場 企画調整課 統計係 ☎755-2111(内線231)

第5回平内町席書大会開催

好天に恵まれた11月20日(土)、勤労青少年ホームで第5回となる平内町席書大会が行われました。

審査員に北門書道会理事の浜谷桃葉先生を招き、平内町文化振興会(元尾昭一会長)の主催で開催されたこの大会では、参加した62名の児童・生徒が、日頃練習している腕前を十分に発揮したようでした。また、一部の作品は、12月2日から1週間にわたって、よごしやま温泉に展示されました。

□平内文化振興会長賞

中谷瑞希(小湊小4年)

□平内町教育長賞

三津谷恭子(小湊小3年)

□平内ライオンズクラブ会長賞

佐野真理子(小湊中1年)

□奨励賞

佐々木友奈(山口小4年)

遠嶋将輝(平内高1年)



餅つきで国際交流

去る11月7日(日)、平内町立内童子小学校で学習発表会と収穫感謝祭が行われ、その中で小さな国際交流も同時に行われました。

これは、4人のマレーシアからの留学生(青森中央学院生)が遊びに来たもので、留学生たちは地域住民との触れ合いや、初めて経験する餅つきや大福づくりを楽しみました。

